

2007年度  
有明広域産業技術振興会  
分科会活動報告書

有明広域産業技術振興会  
有明工業高等専門学校

## 平成 19 年度分科会活動報告

企業幹事：戸上暢啓（富士ダイス（株））

高専幹事：川寄義則（機械工学科）、八坂三夫（電子情報工学科）

2 年前から、高専研究室、設備紹介に始まった分科会 1、および竹プロ・医工連携関連を中心とした分科会 2。平成 19 年度は分科会 1、2 を合体し、新しい分科会（新事業探索）が提案されました。

その活動案として、具体的には、つぎの提案がなされました。（昨年度総会資料より）

- （1）自動車産業への参入は重要項目である。しかし、具体的切り口は見えていない。自動車作りにかかわったキーマンや、下請企業の指導にかかわった自動車メーカーのベテランを講師にした特別講演会の開催、最新情報紹介。東海地区から進出した企業との交流など。
- （2）大牟田市総合病院・帝京大学などリハビリ、理学療法などの現場におけるニーズ紹介、それを受けた医療、リハビリ機器、身体化学計測機器開発のプロジェクトチームづくりなどのコーディネータ役を担当する。
- （3）竹プロジェクト派生共同研究の促進；石炭ブリケットの竹材混合燃焼実験、育苗ポットの進捗報告会などの開催。
- （4）地場産業振興支援研究テーマの進捗報告など。

自動車産業は総合技術であり絞込みも難しく、また医工連携、竹プロの研究も実際には端緒に付いたところです。そこで、本年度は、高専の卒業生をキーワードに、卒業生が勤務している企業の紹介、技術的なトピックスなどを大いに語っていただく場づくりを考えました。その第 1 回として、2006（平成 18）年「元気なモノ作り中小企業 300 社」に選ばれた地元の 2 企業、信号電材と富士ダイスに勤務する卒業生にお願いしました。（平成 19 年 11 月 2 日実施）

引き続き、化学プラントメーカー、IC 関係メーカーと企画している折、地元大牟田市の「地域雇用創造推進事業」が活動開始し、「ものづくり人材育成講座（最先端技術講座）」を、有明高専（機械工学科）が担当することになりました。よって、趣旨、内容、また聴講者もほぼ重複することになったため、同講座に分科会の企画も兼ねさせました。試作プロセスで威力を発揮する光造型システムを軸に、自動車生産技術の第 1 人者（有明高専 O B）、光造型システムの世界的権威（大阪産業大学教授）、推進企業の第 1 人者（社長）、マイクロ、ナノ加工技術の第 1 人者（東京大学の若手学者）を迎えての講座が開設されました。

医工連携については、市と有明高専、地元企業と有明高専で研究開始しており、また竹プロについては、興味深い成果が出つつあり、2 回の発表会がありました。

このように、分科会の活動が、他の研究組織の活動とオーバーラップしてきている現状があります。よって、次年度は、発展的に再構成するか、あるいは部門を狭めて絞り込むかの検討が必要な時期に来ていると考えています。

## 平成19年度 産学連携交流事業 実施報告

有明広域産業技術振興会の事業活動の強化及び効率化を図るため、平成17年度に有明工業高等専門学校を主管とし、会員企業との技術交流を中心とする産学連携交流事業を創設した。

平成19年度については、以下の事業について実施した。

### (1) 技術分科会の開催

17年度会員企業と有明高専の技術交流を目的として、平成15年度に設置した「技術分科会」を、17、18年度は分科会1（技術交流）、分科会2（新産業探索）の個々のテーマ毎に研修会等を開催し、分科会1では、高専のシーズ紹介を行い、分科会2では、新産業探索として医工連携や竹材活用を主なテーマとしてシーズ紹介、校内見学会、講演会を行ってきた。19年度は、さらに発展的に分科会を新産業探索と技術交流の強化を目的の一つにまとめ以下のような事業を行った。

#### ○分科会（技術交流）

##### 1. ダッシャー氏講演会

日 時：平成19年6月20日（水）16：30～18：00

参加者：約100名

##### 2. ものづくり特別講演会

日 時：平成19年10月31日（水）16：30～18：00

場 所：有明高専総合研究棟2階

テーマ：PR技術の基礎・将来展望

講 師：大阪産業大学 丸谷洋二

参加者：45名

##### 3. 卒業生

開催日：平成19年11月2日（火）16：00～18：00

テーマ：地元の元気なモノ作り企業で働く元気な高専卒業生

講 師：塚本 敏樹氏、遠藤 剛氏（信号電材）

戸上 暢啓氏（富士ダイス）

参加者：32名

##### 4. ものづくり特別講演会

開催日：平成19年11月20日（火）16：30～18：30

場 所：有明高専専攻科棟 2階講義室

テーマ：生産技術・品質管理の現状

講 師：株式会社ファルテック 江藤 豊氏

参加者：32名

##### 5. ものづくり特別講演会

開催日：平成20年1月30日（水）17：30～19：30

場 所：有明高専

テーマ：ナノ・マイクロのものづくりと技術の創造

講 師：東京大学 土屋 健介氏

参加者：32名

### (2) 工場見学会（主催事業）

業種の異なる生産現場を見学し会員企業間相互の交流を目的に、会員企業の工場見学会を開催した。

開催日：平成20年2月15日（金）13:00～15:30

場 所：吉野電子工業株式会社、株式会社 YOCASOL

参加者：39名

### （3）企業技術者教育事業（主催事業）

本年度から、会員企業の技術者啓蒙活動として技術者教育事業を有明高専において、連続講座として開催することとした。

本年度は、「環境講座—水環境を中心として」を5回の講座として行った。

### （4）ものづくり人材育成事業

大牟田市パッケージング事業との共催で「ものづくり人材育成事業—光造形技術者育成」を連続15回の講義、実技講習を行った。次年度も開催予定。

### （5）研究開発助成事業の斡旋導入

技術開発助成事業の普及啓発を図るため、有明高専のコーディネーター、（財）大牟田市地域活性化センターの技術アドバイザーが具体的な案件・課題のある企業を個別訪問し、事業の斡旋導入を図った。産炭地域振興基金研究開発事業に2件採択された。

### （6）地場産業振興支援研究費を開始

地場産業の振興に高専がより貢献できるように高専教職員の研究の活性化および地場産業との共同研究への発展を目指した新規の研究助成事業を始めました。

今年度は、以下の4件を採択し助成しました。研究成果は、本会総会の前に発表していただきます。

電子情報工学科 内海教授 研究課題：「LEDを用いた血管注射補強ライトの開発」

物質工学科 小林准教授 研究課題：「光合成明反応関連機能未知微量膜タンパク質大量発現系の構築とその再構成及び機能解析」

物質工学科 出口准教授 研究課題：「寒天加工廃棄海藻の有効利用」

電気工学科 塚本教授 研究課題：「携帯電話用電波シールドバックの開発」

## むすび

本年度も有明広域産業技術振興会の分科会の様々な活動が行われました。本振興会会員企業の皆様のお役に立つことができたのではないかと考えています。

本年度の分科会活動は、高専卒業生の活躍ぶりの紹介をはじめ、人材の育成についての話題が中心となりました。新産業創出として、大牟田市の地域再生計画「大牟田新グランドデザイン」に関連した厚生労働省地域雇用創造推進事業との連携による自動車産業等への参入を目指すべく、光造形という最先端技術を理解する技術者を育成するための「ものづくり人材育成事業(最先端技術講座)」の共催を行いました。また、企業技術者の啓蒙教育として「環境講座」も開催いたしました。参加いただいた会員企業の技術者の方からは、好評をいただきました。今後もこのような活動を引き続き行っていこうと考えています。

昨年度、本振興会から助成いただいた国立大牟田病院との医工連携技術開発は着実な進展を見せ、今年度は本振興会会員企業様との有明高専との共同研究に発展させることができ、産炭地域振興センターの新産業等創造基金の研究開発事業に採択されるまでになりました。今後の有力な大牟田の新産業として発展していくことが期待されます。さらに有明高専のシーズ育成のため、今年度から振興会からの助

成金と有明高専の外部獲得資金の一部をジョイントすることで予算を大型化して有明高専内公募の「地場産業振興支援研究費」とし、今年度は4件の研究テーマを採択しました。次年度以降も本研究支援事業は充実させ、高専の研究をさらに活性化することで、会員企業様にさらに多くのシーズが御提供できるようになると考えています。

この1年間、本振興会の分科会活動に多大なご協力をいただきありがとうございました。今後も会員企業様により情報提供と高専による技術支援ができればと思いますので、ご支援よろしくお願いします。

## 会員企業紹介

会員企業から頂いた PR を掲載します.

# 御社名 有明機械株式会社

## 事業内容

### 1. 製造部門

- ① サイロ・タンク等塔槽類、ベルトコンベア等搬送運搬設備、プラント設備製作、その他産業用設備機械
- ② 粉粒体機器の製造、組立
- ③ ステンレス製缶品の加工、組立  
電子装置製造用真空容器
- ④ 大物部品の機械加工  
五面加工機、マシニング、横中中ぐり、フライス等

### 2. 技術部門

- ① 機械設備の設計  
運搬設備、タンク設備、配管設備  
プラント設備、粉粒体機器、
- ② 建設設計  
鉄骨建家、土木構造物

### 3. 工事部門

- ① 産業機械のメンテナンス、据付現地工事  
発電プラント、化学プラント、  
各種設備のメンテナンス

## 代表社名

岡野 信孝

## 所在地

福岡県大牟田市西港町1丁目20-1

## 電話番号

0944-57-3939

## FAX番号

0944-51-8402・・・

## URL

<http://www.ariake-kikai.co.jp/2514.html>

## E-mail

info@ariake-kikai.co.jp

## 会社概要等

設立年月日 : 昭和38年8月1日

資本金 : 9,000万円

社員数 : 141名

(H20年03月現在)

## 会社の紹介

<本社工場 全景>



ステンレスの加工を得意とし、大型真空容器製作に関しても、一次加工・製缶・溶接加工・仕上げ加工・真空テスト・電解研磨加工までの一貫した生産をしています。

また、粉粒体機械は、設計・製作・組立迄の一貫生産をしています。

## 主要製品名等

<真空容器>



<超微粉碎機：SCミル>



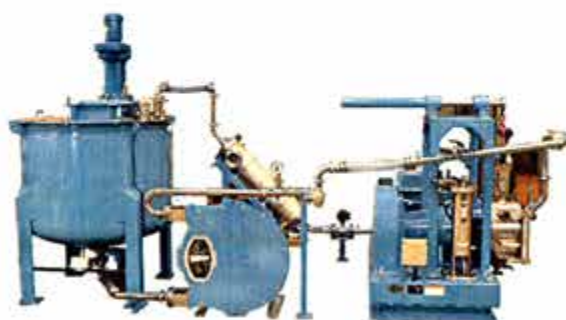
<五面加工機>



<フロー型NC横中ぐり盤>



<SCミル設備>



(主 要 設 備)

| 名 称           | 加工範囲            |
|---------------|-----------------|
| 五面加工機         | 5000x3050x1720  |
| 五面加工機         | 6000x4400x1950  |
| 五面加工機         | 5000x4000x1500  |
| 横中ぐりフライス盤     | 6000x3600x1100  |
| プレーナ形横中ぐり盤    | 4000x2000x1500  |
| 707形横フライス中ぐり盤 | 6000x2500x2000  |
| 門型マシニングセンタ    | 4000x2000x2000  |
| NC立中ぐりフライス盤   | 3000x1400x1200  |
| 門型平削盤         | 7000x1500x1000  |
| 電解研磨槽         | 4000x5700x4000H |

# 株式会社有明ねっこむ

## 事業内容

1. インターネットプロバイダ事業
2. コンピューター等電子情報機器及びその関連機器による情報提供、情報処理業務及びこれらに関するコンサルティング業務
3. コンピューター等電子情報機器及びこれらの利用技術等（ソフトウェア）の販売、リース、レンタル及びその斡旋業務
4. コンピューター等電子情報機器の利用技術等（ソフトウェア）に関する開発、教育、コンサルティング業務
5. 地域高度情報化に関する試験研究開発業務
6. 広告、宣伝取扱業務
7. 労働者派遣事業法に基づく労働者派遣業務
8. 上記各項に関連する一切の業務

## 代表者名

代表取締役 永利 新一

## 所在地

福岡県大牟田市不知火町1丁目3番地10  
電話番号

0944-55-7331

FAX番号

0944-55-7380

URL

<http://www.ariakeinfo.ne.jp>

<http://www.ariakenet.com> (プロバイダサイト)

E-mail

info@ariakeinfo.ne.jp

## 会社概要等

|      |            |
|------|------------|
| 設立   | 昭和62年4月16日 |
| 資本金  | 1億7,600万円  |
| 従業員数 | 15名（役員を除く） |

## 認定資格等

一般第二種電気通信事業者 H-13-630

特定労働者派遣事業届出 特40-300053

プライバシーマーク A470041(01)

## 主要サービス等

1. インターネット接続サービス
2. ホームページ制作業務
3. 企業ネットワークに関する下記のコンサル業務
  - ・セキュリティ対策
  - ・情報漏えい対策
  - ・社内LAN、事業所間LANの設計・構築
  - ・社内サーバのお預かり及び運用・管理

## 会社の紹介

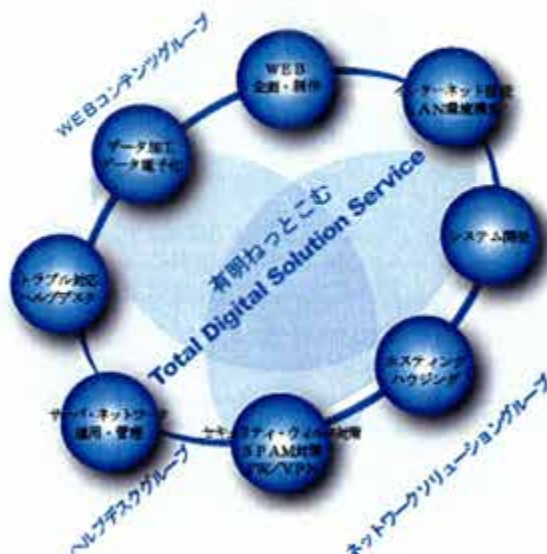
株式会社有明ねっこむは、地方公共団体をはじめ各種企業などの出資による第3セクターとして昭和62年に設立されて以来、最新のIT技術を駆使し、地域の情報化を推進してまいりました。インターネットが社会の重要なインフラとして定着した今、生活やビジネスの現場における様々な課題やご要望に応えるべく、情報化社会のパートナーとして今後一層きめ細かなサービスを提供してまいります。

### （御社の技術）

- ・インターネット接続（プロバイダ）
- ・ネットワーク環境の構築、運用・管理
- ・システム開発
- ・図面電子化
- ・ウェブ企画・制作・管理

### （解決したい問題点）

例えば、お客様が販売促進のために「自社のホームページを立ち上げ、多品種ある自社商品をデータベース化して、WEB上から簡単に閲覧・購入できるシステムを作りたい」とお考えの場合。



担当者様は、それぞれの分野の専門業者との間で個別に調整が必要となり、本来業務に集中できない状態になることが危惧されます。また、難しい業界用語が頻繁に出てくる説明に、内容を十分に把握できないまま発注し、本番稼動後に色々な問題が出てくる可能性も考えられます。

有明ねっとこむでは、こうしたお悩みにお応えするため、お客様のご要望を一括したサービスでご提供できる組織体制を取っております。

これにより、当社に一括してお任せいただくことで、複数業者との煩わしい調整も必要なくなり、さらに、これまで各業者に個別に依頼されることにより割高になっていたコストについては、より高品質なサービスを低コストでのご利用が実現します。

【社 名】オーム乳業株式会社  
【社名英文】Omu Milk Products Co.,Ltd.  
【所 在 地】福岡県大牟田市新勝立町 1-38-1  
【創 立】1934 年 12 月 1 日（昭和 9 年）  
【資 本 金】7,500 万円  
【代 表 者】永利 嘉浩  
【従業員数】107 名  
【主な製品】生クリーム、牛乳、乳飲料、  
清涼飲料、チーズ、バター、

#### 〈会社概要〉

オーム乳業は 1934 創業以来「乳」を通して「人々の健康増進に役立つ」を基本理念に、この「乳」の持つ限りない可能性を追求してまいりました。

飲用牛乳等のコンシューマー向けより、品質管理が高度になる分、付加価値の高くなる、生クリーム等の業務用製品への転換。さらに 1998 年 4 月より、新本社工場を操業開始させることにより「乳」をベースにした、研究開発型企业へと構造転換し、様々な商品開発及び研究開発を活発に展開しております。



本社工場

【URL】<http://www.omubrand.co.jp> (公式サイト)  
<http://www.okashiworld.jp> (情報サイト)



#### 〈商品開発及び研究開発について〉

商品開発及び研究開発への取り組みとしては、全社員の一割が商品及び研究開発業務に従事しており、売上高の約 1.5%を投資しております。

主力製品であります業務用製品開発におきましては、大手企業があまり積極的に行わない、いわゆるニッチ市場をターゲットにしており、そのため顧客のご要望に丁寧に耳を傾け、顧客の立場にたった製品開発を心がけております。

また最近では、これからの高齢化社会ニーズとしての「生活習慣病予防」対策が重要であります。その対策商品開発として食品に含まれる機能性成分の研究に力をいれております。その内容としまして、膜分離技術や、酵素法を利用することにより、乳ペプチドを創出し、その生理機能性についての研究開発を推進しております。食品としての「おいしさ」を保ちながら、その食品を食することにより「生活習慣病予防」に役立ち、社会に貢献することが目標であります。

また 21 世紀は、環境が大きなテーマになる時代という認識より、廃棄物の有効活用についても研究開発推進をしております。その一例としましてはチーズ生産時に廃棄されるホエー等の環境負荷物質の有効活用促進研究を実施しております。実施内容としましては、上記生理機能性研究の他に食品の風味改良剤等への用途開発を図っております。



試作室（ミブラントにて新製品の試作を行う）

# 近鉄エンジニアリング株式会社 福岡支社

事業内容 機械設計業  
代表社名 取締役支社長 武岡功尚  
所在地 大牟田市四箇新町一丁目3番8  
電 話 0944-41-3211  
FAX 0944-41-3220  
URL

<http://www.kintetsu-eng.co.jp/js/index.htm>

E-mail takano@kintetsu-eng.co.jp

## 会社概要等

当社は、設計受託業務を主体とし、家電製品や自動車生産ライン等の自動機械、揚運炭機械やプラント配管等の電力設備、ごみ焼却施設や水処理施設等の、環境設備、掘進機や運搬機械等の産業機械及び橋梁架設工事の検討等あらゆる分野に進出しております。

## 主要製品名等

- 1.工場自動省力化機器設計
- 2.一般産業機械設計
- 3.環境設備設計
- 4.プラント設計
- 5.荷役運搬機械の設計
- 6.電力設備管理業務

## 会社の紹介

1964年の創業以来、頑なにこだわり続けてきた人材育成、いわゆる真の技術者集団づくりです。人材派遣を主とする企業が多いなか、当社は一貫した育成システムを採用。創造性にある設計技術だけを供給する体制を守り、現在も多岐に亘る分野の設計に携わっています。幅広い視野と総合的な思考力はエンジニアリングに不可欠であり、世界的規模で見ても、あらゆる分野において機械設計は大きな比重が課せられています。近年においては海外からの引き合いはもとより受注量も年々拡大しております。機械設計業の地位向上に尽力し、1988年には業界や行政のご理解得て社団法人日本機械設計工業会を設立致しました。今後も業界の真の技術者集団として社会的業務を果たし機械設計業を一大産業として確立していく所存です。

福岡支社全景



# 御社名：信号電材株式会社

## 事業内容

道路交通付帯設備の製造販売

## 代表社名

糸 永 康 平

## 所在地

福岡県大牟田市新港町1-29

## 電話番号

0944-56-8282

## FAX番号

0944-56-8283

## URL

<http://www.shingo-d.co.jp>

## E-mail

[webmaster@shingo-d.co.jp](mailto:webmaster@shingo-d.co.jp)

## 会社概要等

(設立や沿革等)

1972年10月 信号電材株式会社設立

1987年6月 東京都に東京営業所を開設

1992年6月 東大阪市に関西営業所を開設

1995年5月 広島市に中国営業所を開設

1996年5月 仙台市に東北営業所を開設

1997年6月 札幌市に北海道営業所を開設

2001年6月 ISO9001認証取得

2003年5月 名古屋市に中部営業所を開設

2005年10月 ISO14001認証取得

2006年6月 中国上海事務所を開設

## 主要製品名等

- ① 交通信号灯器
- ② 信号用ポール
- ③ 各種BOX
- ④ 大型構造物

## 御社風景や製品の写真等



## 会社の紹介

道路交通付帯設備向け製品の製造・販売、経験36年。あらゆる顧客のニーズに応えるため常に性能、品質、コスト、スピードを追求。

## (御社の技術)

- ・ 発光ダイオードを使用した製品開発
- ・ 大型構造物の設計・強度計算
- ・ 大型構造物製造技術
- ・ 粉体塗装の一貫生産（ノック前処理）
- ・ 2次元・3次元CADによる設計製図
- ・ 中国生産委託加工管理

## (御社の特色ある設備等)

- ・ ノック前処理＋粉体塗装設備
- ・ パイプ切断用プラズマ加工機
- ・ 光学測定暗室
- ・ 中型温湿度試験器
- ・ サーマルサイクル試験機

## (解決したい問題点)

## 具体的ニーズ

- ・ 光学設計及び解析  
(光線追跡ソフト解析)
- ・ ソーラーシステム技術
- ・ 構造解析 (応力解析、有限要素法)
- ・ 強度/破壊試験

# M 松尾産業株式会社

商品の万引き防止警報装置の開発、製造  
販売

防犯カメラの販売、施工、保守

防犯設備機器システムの設計、販売、施工  
保守点検

代表取締役社長 渋谷二三夫

福岡県大牟田市新勝立町 1-48-1

電話番号

0944-51-0360

FAX番号

0944-51-0107

URL <http://www.matsuosangyo.jp>

E-mail [info@matsuosangyo.jp](mailto:info@matsuosangyo.jp)

## 会社概要

|       |                                                                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創業    | 1979年 9月                                                                                                    |
| 設立    | 1984年 6月                                                                                                    |
| 資本金   | 1,000万円                                                                                                     |
| 従業員数  | 22名                                                                                                         |
| 取引銀行  | 肥後銀行 三井住友銀行<br>福岡銀行                                                                                         |
| 主な販売先 | (株)ヤマダ電機<br>(株)コジマ<br>(株)ケーズホールディングス<br>(株)ヨドバシカメラ<br>(株)ビックカメラ<br>(株)イトーヨーカ堂<br>(株)イオン<br>(株)ソフマップ 等 (順不同) |



## 主要製品名等

有線式万引き防止警報装置“ロスコンシリーズ”



その他セキュリティゲートや防犯カメラ  
を取扱っています。



## 当社の技術

各種センサーを利用した様々な機器の開発  
を得意としています。

当社のロングセラー商品である盗難防止  
警報装置“ロスコン”をはじめ、自動車学  
校様で2輪の検定時に使用する、長さ2m  
程のゴムセンサーを利用したスラローム  
コースタイム測定装置や、超音波センサー  
を利用した駐車場からの車の出入りをし  
らせるパーキングライトなど数々のヒッ  
ト商品を生み出してきました。

センサーを利用して何かの状態を知りたい、  
知らせたいといった場合はご相談下さい。

## 解決したい問題点

常に新しいセンサーを探しています。

また粘着性、耐熱性の高い薄型のシール素  
材も探しています。

# 三井鉱山マテリアル(株)

## 有明プレシジョン

### 事業内容

ファインセラミックスの製造・加工・販売

### 代表者名

所長 浜崎俊夫

### 所在地

大牟田市西港町1丁目21番地4

電話番号 0944(43)1151

FAX番号 0944(43)1170

URL <http://www.mitsui-mmc.co.jp>

E-mail [hamasaki@mitsui-mmc.co.jp](mailto:hamasaki@mitsui-mmc.co.jp)

### 会社概要 (沿革)

平成5年 三井鉱山(株)の新素材事業部門  
から分社独立

平成13年 栃木と大牟田の2工場を統合  
して素材製造と加工の一貫工場  
となる

平成13年 ISO9001 取得

平成14年 ISO14001 取得

### 主要製品名等

- ①マシナブルセラミックス「マセライト」
- ②アルミナ「MA995」他
- ③ジャケットヒータ
- ④二次電池用負極材

### 弊社風景



### 会社の紹介

セラミックスの素材製造から加工までの一貫した生産を行っている。

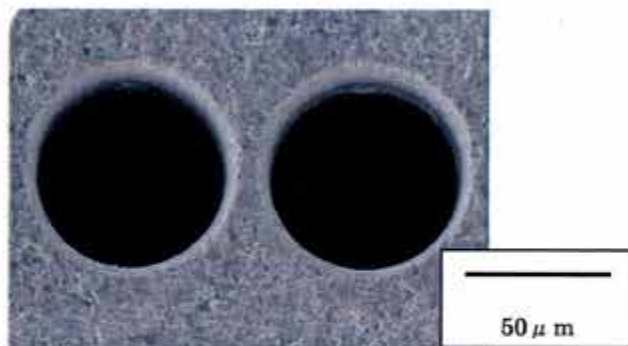
特に精密加工を得意としており半導体、液晶分野において幅広く活用されている。

また客先ニーズに合わせた新素材の開発を行う開発型の企業である。

### (弊社の技術)

セラミックスの高精度加工および高精度検査技術。

特に弊社が独自で開発した機械加工が容易なマシナブルセラミックス「マセライト」への小径穴加工技術は特有のものである。写真は60μmの穴加工品。



### (特色ある設備等)

- ①高精度加工用マシニングセンタ
- ②接触式三次元測定機
- ③非接触式三次元測定機 等

### (解決したい問題点)

新製品として開発され生産・販売を行っているジャケットヒータ(半導体製造ライン用のヒータ)の製造工程における多種多様な図面のCAD化とそのデータベース化

### (具体的な協力希望等)

図面のCAD化およびデータベース化のためのシステム構築に関する指導・相談

# 室町ケミカル株式会社

## 事業内容

医薬品一般製造業  
健康食品の製造・販売関連  
毒物劇物製造業の関連  
電子材料薬品の製造関連  
イオン交換樹脂の処理関連  
水処理関連

## 代表者名

村山哲朗

## 所在地

大牟田市新勝立町 1-38-5

## 電話番号

0944-41-2131

## FAX番号

0944-41-2133

## URL

<http://muro-chem.co.jp>

## E-mail

[ttanaka@muro-chem.co.jp](mailto:ttanaka@muro-chem.co.jp)

## 会社概要

創立：大正6年1月

設立：昭和22年7月

資本金：6,000万円

従業員数：170名（平成20年03月現在）

## 主要製品名等

各種イオン交換樹脂

純水製造装置

健康食品『凜乃華』シリーズ



会社全景

## 会社の紹介

イオン交換樹脂やUF膜NF膜RO膜を活用した液体中の成分の分離技術に優れています。液体は水系・非水系を問いません。

純水や超純水の製造設備の製造も行っています。

### （協力可能な技術）

各種溶液から特定成分を抽出（除去）する、あるいは濃縮をする。

### （使用可能な設備）



UF膜試験装置



RO膜試験装置



4インチ膜試験装置

### （解決したい問題点）

ニーズ：めっき廃水のクロードシステムの構築

具体的な高専および会員企業に対する協力希望等：

廃水中の有機物処理方法の開発および廃水処理全般への助言

## 株式会社 ランド・クリエイティブ

本 社 〒837-0907 福岡県大牟田市四箇新町1丁目2番4  
TEL 0944-31-3009(代) FAX 0944-58-6231  
E-mail : [info@landcreative.co.jp](mailto:info@landcreative.co.jp)  
Homepage : <http://www.landcreative.co.jp/>

研究室 〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾 150 (有明工業高等専門学校開発研究棟)  
TEL 0944-53-8674 FAX 0944-53-8674

設 立 平成 16 年 11 月 8 日

資本金 9,970 万円

役員等

代表取締役 生田 静夫  
取 締 役 市橋 賢一  
取 締 役 五日市 剛 (工学博士)  
技術 顧問 川瀬 良一 (有明高専: 工学博士)  
技術 顧問 長野 修治 (福岡大学)  
財務 顧問 岩永元一郎 (公認会計士)

### 業務内容

- ・土壌・水質・大気環境改善に関する研究及び開発
- ・土壌・水質・大気浄化剤及び改良材の製造、加工及び販売
- ・各種機械・器具の設計、製造、修理、販売並びに賃貸
- ・各種機械・器具の設置工事並びにその施工監理
- ・廃棄物最終処分場の造成、再生、減容化及び適正閉鎖に関する調査、設計並びに施工監理
- ・土壌汚染対策工事の調査、設計並びに施工監理
- ・土木建築工事の調査、設計並びに施工監理
- ・土木建築用資材の製造、加工並びに販売

### 主要製品

- ・地盤掘削改良装置 (チェーンコンベアカッター) の製造・販売及び賃貸
- ・地盤掘削改良装置 (チェーンコンベアカッター) による工事の設計及び施工監理

### 当社技術の特徴

チェーンコンベアカッターは

- ・従来の地盤掘削改良装置に比べ小型軽量
- ・周辺環境 (特に都市部) への低負荷工事を実現
- ・汚染土壌の改良・地中連続壁の築造を、従来工法より低コスト・短工期で施工可能

### 施工事例

(チェーンコンベアカッターの全景)



(掘削中)



(連続遮水壁: 出来型確認のため遮水壁の両サイドを掘削)



# 第一製網株式会社

## 会社の紹介

事業内容

(御社の技術)

代表社名

代表取締役社長 南條 裕

(御社の特色ある設備等)

所在地

熊本県荒尾市増永1850番地

電話番号

0968-62-1161(代表)

0968-62-1164(研究開発部、窓口)

FAX番号

0968-64-1684(研究開発部、窓口)

(解決したい問題点)

URL(第一製網株式会社)

<http://www.seimo.co.jp>

E-mail(研究開発部、窓口)

[h\\_takamoto@seimo.co.jp](mailto:h_takamoto@seimo.co.jp)

会社概要等

主要製品名等

御社風景や製品の写真等

# 会社紹介 富士ダイス株式会社

## 事業内容

超硬工具製造（超硬耐摩耗工具専業）、  
精密金型、熱間・冷間圧延ロール、  
ダイス・プラグ各種耐摩耗工具の製造

## 代表者名

代表取締役 社長 木下 徳彦

## 本社所在地

東京都大田区下丸子2丁目17番10号

熊本製造所（熊本県玉名郡南関町）

TEL

0968-53-3111

FAX

0968-53-3018

URL

<http://www.fujidie.co.jp>

E-mail

[9eigyo.kyoyu@fujidie.co.jp](mailto:9eigyo.kyoyu@fujidie.co.jp)

## 設立

1949年6月6日

## 資本金

9,600万円

従業員数 括弧内は全社人員

146 (899) 名

(男性 131名/女性 15名)

## 工場規模

〔敷地〕 8998.4 m<sup>2</sup>

〔建屋〕 2997.4 m<sup>2</sup>

## 認証・資格等

ISO9001/ISO14001 認証

### 主要設備

旋盤、NC旋盤、NCフライス盤、  
ジグ研削盤、マシニングセンター、  
NC光学微研削盤、NC放電加工機、  
ワイヤーカット放電加工機、  
平面研削盤、形状・表面粗さ測定機、  
三次元測定機、真円度測定機、  
歯車測定機、真空焼結炉、HIP

## 主要製品名

・ダイス（線引、皮剥き、管引）、  
プラグ（管用）鋼製精密金型、  
超硬耐摩耗工具、製缶工具、粉末成形金型  
超精密耐摩耗工具  
フジロイ超硬合金素材  
固体潤滑複合材

## 主要取引先

新日本製鐵、JFEグループ、住友金属工業、  
神戸製鋼所、東芝、三菱電機、TDK、  
三井ハイテック、旭硝子、アイシン精機、  
本田技研工業、本田技術研究所、ショーワ

最終製品を生み出す「生命工具」として耐摩耗工具に  
命を吹き込みます。芸術品ともいえるべき最高精度の工具。  
それは妥協やごまかしのない「誠心」から生み出される  
人間の卓越した「うで」によります。弊社では300名を  
超える国家の技能士資格者が製品の提供にあたります。  
経済産業省中小企業庁より、2006年度「元気なモノづく  
り中小企業300社」に選定されました。



### ① 熊本製造所 超硬合金素材、各種高精度耐摩耗工具の生産を手掛ける 工場です。

全8工場の中でも自然に恵まれた環境に立地して、おり  
ます。



### ② 自社製超硬合金を用いた ダイス・プラグ

業界の第一人者として高品  
質の製品をお届け致します。



### ③ 精度の粉末成形金型 粉末成形金型では、鋼製品と 自社超硬合金を組み合わせ、 お客様のニーズに合わせた 金型を提供しております。

## 加工／技術

開発設計超硬合金粉末からの一貫生産により、お客様の  
要求に合わせた工具の設計を行っております。製作  
3D-CAD/CAM、2D-CAD/CAM を用いて高精度のデ  
ータを作成、加工しております。超硬合金については、  
粉末からの一貫生産を行い工具製作に使用しており  
ます。検査3-D計測値と設計値の誤差表示等、高精度  
の計測技術を用いて工具を検査、確かな品質の工具を  
お届けします。

作成：九州事業部生産技術部 2007年11月2日

## 会社紹介 株式会社 丸美屋

### 事業内容

納豆、豆腐他製造販売

### 代表者名

代表取締役 社長 東 健

### 本社所在地

熊本県玉名郡和水町内田2211

TEL 0968-75-6000

FAX 0968-75-6954

ホームページ <http://www.marumiya-g.co.jp>

### 創立

昭和31年3月13日

### 資本金

4160万円

### 従業員数

291名

### 経営理念

地球にやさしく

おいしさひとすじ

健康に奉仕する丸美屋

#### 行動指針・五つの誓い

##### 一、「ビジョン」

私達は、お客様に愛される企業づくりを目指すことを誓います。

##### 一、「お客様」

私達は、お客様の信頼と満足に応え、業績拡大の責務を完遂することを誓います。

##### 一、「商品」

私達は、全社創意工夫で時流にあった再考の品質と斬新な商品を提供することを誓います。

##### 一、「管理」

私達は、管理の徹底を計り「ムダ・ムラ・ムリ」を社内から一掃することを誓います。

##### 一、「基本動作・チームワーク」

私達は、日々基本動作の鍛錬で明るく活力ある社風を創造することを誓います。



### 会社紹介

当社は大豆を原料とした日本の伝統食品でもある、豆腐、納豆を製造販売しています。

豆腐、納豆は栄養のバランスがよく近年の健康食ブームにより、ますます脚光を浴びています。

工場は安全衛生管理を徹底し、美味しく安心できる製品作りを行っており、有機認定工場のJAS国際品質規格のISO9001認証を取得しております。

さらに食品技術も確立され、自社納豆菌「K-145」を開発し、特許を取得しました。

風光明媚な環境のなかにあり、環境に関し工場で排出される廃棄物は分別、リサイクルシステムを導入しています。

特に豆腐工場から排出されるおからは、乾燥粉末化され、家畜飼料、幼魚場などで有効に利用されています。

ほか取り組みは、食育活動にも積極的取組み、大豆の作付け収穫、さらには収穫大豆を使って豆腐造りなどの体験学習を通じて、食の大切さを子供達へ発信しています。





# 財団法人大牟田市地域活性化センター

## 事業内容

- ① 新産業の創出・産業支援
- ② 資源循環型社会の推進

## 代表者名

理事長 木下 勝弘  
(大牟田市副市長)

## 所在地

大牟田市健老町461  
大牟田市エコサルクセンター内  
303号室

## 電話番号

0944-56-1717

## FAX番号

0944-56-1725

## URL

<http://ecosanc.or.jp/tiiki/>

## E-mail

[info@ecosanc.or.jp](mailto:info@ecosanc.or.jp)

## 会社概要等

平成12年1月13日設立



(エコサルクセンター)

## 財団の特色

4人の技術アドバイザーを中心に、有明工業高等専門学校、大牟田商工会議所、大牟田市役所等と連携しながら、技術開発のサポートや共同研究のコーディネートを行います。



正木 寿一郎  
(まさき じゅいちろう)

鋼構造物の応力解析、疲労強度解析等



古賀 武光  
(こが たけみつ)

マーケティング、市場分析等



前田 浩  
(まえだ ひろし)

ファインケミカル工場の設備管理、生産管理、安全管理



佐々木 久浩  
(ささき ひさひろ)  
有機合成化学、ファインケミカル製品のプラント建設、生産管理、品質管理

お気軽にご相談ください。秘密も厳守します。

# 有明工業高等専門学校 地域共同テクノセンター Regional Collaboration Center

地域共同テクノセンターは、高専におけるものづくり基盤技術の教育・研究・開発機能を高めて、中小企業等を対象とした技術相談や共同研究機能等を強化し、地域における産学官連携・協力を通じて地域の活性化を図ることを目的としています。また、当センターでは、地域の子供達および社会人向けの公開講座も企画・運営しています。



総合研究棟

連絡先

〒836-8585大牟田市東萩尾町150

TEL: 0944-53-8627

FAX: 0944-53-8665

E-mail: tc-soudan@www.rc.ariake-nct.ac.jp



ロボット操縦体験



有明広域産業技術振興会分科会

## 学校概要紹介

本校は、**機械工学**、**電気工学**、**電子情報工学**、**物質工学**、**建築学**の5学科からなり、各学科の入学定員は40名で、学生総定員は1,000名です。卒業生は5,907名にのぼり、各分野において広く社会の期待に応えて活躍しています。

高専教育の特色は、「5年間の一貫教育・基礎学力と実験実習を重んずる教育」による高度の実践的技術者の養成にあります。本校では、専門科目と一般科目を5年間にわたって有機的に配置した教育課程によって、大学工学部卒と同程度の深い専門知識と高い技術力を備えた実践的技術者の育成を目指しています。

平成13年には**専攻科(生産情報システム工学専攻、応用物質工学専攻、建築学専攻)**が設置され、110名の修了生を輩出し、高度な技術者育成機関として一層の充実を図っています。